地域全体の将来像

愛・地球博の成果を継承・発展させるまち

環境共生型の暮らしが根付き、文化・レクリエーション施設などに人々が賑やかに集い、楽しく交流し、新しい地球市民交流・市民活動が生まれるような、万博の理念や成果をさらに具現化しうるまちづくりを進めます。

- ●基本方針１　環境共生型の暮らしが根付くまちづくり
- ●基本方針２　文化・レクリエーション施設などに人々が賑やかに集い、楽しく交流するまちづくり
- ●基本方針３　新しい地球市民交流・市民参加活動が生まれるまちづくり
- ●基本方針４　環境分野などの先進的取組を通じ、課題に挑戦しつづけるまちづくり

愛知の新たな飛躍をリードする研究学園地区

大学や研究機関などの活発な相互連携や研究交流が行われ、研究成果などを世界に向けて積極的に発信していくことで、本地域のみならず愛知県や中部圏全体の成長と新たな飛躍をリードしていく研究学園地区を形成します。

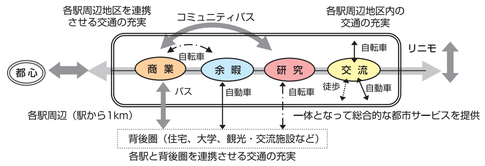
- ●基本方針５　最先端の科学技術の共同研究や実証実験が行われ、世界に発信するまちづくり
- ●基本方針６　地域内外の大学・研究機関の相互連携、研究交流が盛んなまちづくり

リニモでつながる「コンパクト」なまち

駅周辺に豊かな自然と調和した特色ある住宅地や都市機能がまとまり、自動車や公共交通、自転車、徒歩などをかしこく使い分けるライフスタイルを実現し、環境への負荷を低減した持続可能なまちづくりを進めます。また、コンパクトにまとまった特色あるまちがリニモでつながり、沿線全体として他地域にはない大きな魅力が生み出されるモデル的なまちづくりを進めます。

- ●基本方針７ 駅ごとに特色ある都市機能が集積したまちづくり
- ●基本方針８ 駅と背後圏が有機的に連携したまちづくり
- ●基本方針９ 活発なコミュニティにより持続的に発展するまちづくり

[各駅周辺の機能分担とリニモを中心とした交通の充実イメージ]



構想の推進について

・構想の実現に向けて、行政、企業、大学、ＮＰＯ、地域住民など、地域の様々な活動主体が連携しつつ、積極的・主体的に取り組んでいく必要があります。

・特に、計画的にまちづくりを進めていくためには、市町の土地利用計画、マスタープランなどの果たす役割が大きいことから、市町においてその位置付け・策定を進めるとともに、県においても、良好な景観形成やリニモの駅へのアクセスの充実など、市町を越えた広域課題の調整を行い、まちづくりの様々な取組の円滑な実施につなげていきます。

・さらに、県、沿線市町、地域の関連団体、大学、ＮＰＯなどを交えた推進会議を設置し、構想の啓発、沿線のまちづくりに係る民間事業者への情報提供などを行い、地域の機運を高めつつ、リニモを積極的に活用した新たな地域づくりに向け関係者が協働して取り組みます。

≪ 将来の人口等 ≫

	<現 状>	<H37年(2025年) >
居住人口	12,300人 (H20年)	25,000～30,000人
交流人口※	14,000人/日 (H19年)	31,000～36,000人/日

※通勤・通学や施設利用など地域外からの流入人口

実現がまちどおしいね。

2005年に開催された「愛・地球博」のマスコットキャラクター"モリゾー・キッコロ"は、環境にやさしいまちづくりを応援しています。

「リニモ沿線地域づくり構想」は、ホームページからダウンロードすることができます。
http://www.pref.aichi.jp/0000023904.html

お問い合わせ

はじめよう
環境にやさしい交通行動
エコ　モビリティ　ライフ
エコモビ

○愛知県 地域振興部地域政策課
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 …… 電 話 052-954-6095

○瀬戸市 行政経営部経営課
〒489-8701 瀬戸市追分町64番地の１ …… 電 話 0561-88-2521

○豊田市 総合企画部企画課
〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地 …… 電 話 0565-34-6602

○日進市 企画部企画政策課
〒470-0192 日進市蟹甲町池下268番地 …… 電 話 0561-73-3176

○長久手町 まちづくり推進部企画政策課
〒480-1196 愛知郡長久手町大字岩作字域の内60番地1…… 電 話 0561-63-1111(代)

リニモ沿線地域づくり構想

愛知県立大学

モリコロパーク

どんなまちになるのかな?

「リニモ沿線地域づくり構想」とは？

構想策定の目的

リニモ沿線地域は、名古屋東部丘陵に位置し、多くの大学・研究機関が立地するとともに、万博を契機に広域交通条件が飛躍的に向上し、尾張と三河を結ぶ重要な拠点として、愛知の新たな飛躍をリードする地域づくりが期待されています。こうした地域の特性やポテンシャルを活かし、リニモを積極的に活用した新たな地域づくりの構想を県と沿線市町が共同で策定しました。

目標年次

2025 年(平成 37 年)を展望しつつ、2015 年(平成 27 年)を取組の目標年次としています。

構想の対象地域

地域づくりを計画的に誘導していくことが必要な「長久手古戦場駅」から「八草駅」までの各駅周辺(概ね１ｋｍ圏)及び博覧会の理念継承の場である「海上の森」を主な対象地域とします。

リニモ沿線地域の特性

- ・リニモの開業やそれに伴う地下鉄東山線・愛知環状鉄道との接続、名古屋瀬戸道路や東海環状自動車道の整備など、広域的な交通ネットワークが充実しています。
- ・大都市近郊に位置しながらも、優良な田園地帯や海上の森など豊かな自然環境に恵まれています。
- ・愛・地球博記念公園など愛・地球博の理念を継承する施設群を有するとともに、市民交流活動などが活発に行われています。
- ・愛知県立大学を始めとする大学や愛知県農業総合試験場などの研究機関が高密度に集積しています。
- ・名古屋市東部から延びる良好な文化・居住地域の最東端に位置し、文教地区としてのイメージを有しています。